



原子力防災に備えて

■問合せ…市民安全課 原子力防災対策室 (☎025-520-5663)

新潟県原子力防災訓練が行われます

当市では、UPZ（柏崎刈羽原子力発電所からおおむね5～30km圏内）にお住まいの皆さんを対象に、次のとおり訓練を行います。

▶と き

11月9日①午前8時30分～9時30分（予定）

▶対象地域

柿崎区、吉川区の全町内会、大潟区雁子浜・内雁子町内会、大島区板山・田麦・竹平・藤尾町内会、浦川原区小麦平

▶訓練内容

①屋内退避訓練 ②広報活動訓練

原子力災害から身を守るポイントは次の4つです。訓練対象地域の皆さんは、訓練に参加し、万が一の際に取るべき行動を確認しましょう。

原子力災害から身を守る4つの行動

①正確な情報の入手

テレビ、ラジオ、防災行政無線などで市（国・県含む）の発信する正確な情報を入手します。



②まずは屋内退避

市から「屋内退避指示」が出たら、建物内に避難します。屋内退避によって、放射性物質の付着や吸入を防ぐことができます。



③屋内退避の継続

「屋内退避指示」の解除や「避難指示」が出るまでは屋内退避を継続します。「屋内退避指示」が出ている間は、むやみに外出しないようにします。



④状況によって特定の区域は避難

測定した空間放射線量が高い区域には市から「避難指示」が出ます。避難対象区域にお住まいの皆さんは指示に従い行動します。



原子力防災に関する市の取り組み

市では、原子力災害時に取るべき行動や原子力災害への備えについて市民の皆さんに知っていただくため、原子力防災ガイドブックの配布や動画の配信、出前講座などを行っています。（※1）

また、原子力災害時に市民の皆さんが安全に避難できるよう、引き続き、国、県、関係市町村などと共に広域避難などの課題解決を進めながら、実効性のある避難体制の整備に向けて取り組んでいきます。



防災一口メモ

原子力発電所からの距離によって、災害時の対応は異なります

国が策定した原子力災害対策指針には、発電所からの距離によって異なる対応が示されています。指針に沿った行動をすることで、無用な被ばくや放射線による健康被害を避けることが可能となります。

- PAZ（※2）：放射線による人体への影響が大きいため、放射性物質が放出される前に避難を開始
- UPZ（※3）：放射線の影響が比較的少ないことから、被ばく量を低減させるため屋内に退避する
- UPZ外：基本的には屋内退避などの防護措置は不要。放射線量に応じて必要な対応を取る

もし、避難の必要がない人が慌てて避難してしまうと、交通渋滞の発生により、避難が必要な人が円滑に行動することが出来なくなってしまいます。慌てずに取るべき行動を確認することが大切です。

（※1）原子力防災ガイドブックや普及啓発動画は、市ホームページでご覧いただけます。

（※2）PAZ：発電所からおおむね5km圏内（当市には該当区域はありません）

（※3）UPZ：発電所からおおむね5～30km圏内



原子力防災
ガイドブック



普及啓発動画